

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-111	Year Month Day Time 2019 年 5 月 5 日 9 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
洛 南	64 ●	福大大濠
	(14 1st 24 20 2nd 13 8 3rd 22 22 4th 25 0 T)	84 ○

主審:Crew chief
小川裕之 秋田
副審:Umpire
古川俊和 福島
大山忠則 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		北橋 岳洋		-	-	-	-	0	4	×	西田 公陽	CAP	13	1	5	0	1
5	×	星川 堅信	CAP	9	0	4	1	0	5	／	高木 寛大		2	0	1	0	0
6	／	藪田 陽大		7	1	2	0	1	6	／	田邊 太一		16	2	5	0	2
7	／	槇野 伶		4	0	2	0	0	7	×	間山 柊		2	0	1	0	1
8	／	井関 傑		0	0	0	0	0	8	×	木林 優		22	1	9	1	2
9	／	熊田 彩人		0	0	0	0	0	9	×	黒木 丈		2	0	1	0	0
10	／	北川 舜		0	0	0	0	1	10	×	平松 克樹		9	1	3	0	3
11	×	小川 敦也		20	1	7	3	2	11	／	杉 渉夢		0	0	0	0	0
12	×	浅野 ケニー		11	2	2	1	0	12	／	山際 爽吾		0	0	0	0	0
13	×	松山 雄亮		0	0	0	0	1	13		岩下 准平		-	-	-	-	0
14	×	西村 慶太郎		6	0	3	0	2	14	×	横地 聖真		12	1	4	1	0
15	／	大石 日向		7	1	2	0	0	15	／	岩橋 史門		0	0	0	0	0
16	／	大西 一輝		0	0	0	0	0	16	／	原田 大和		2	0	0	2	0
17	／	山岸 優介		0	0	0	0	0	17	／	針間 大知		4	0	2	0	0
18		大長 勇也		-	-	-	-	0	18	／	島崎 輝		0	0	0	0	0
コーチ		吉田 裕司						0	コーチ		片峯 聡太						0
アシ		河合 祥樹						0									0
合 計				64	5	22	5	7	合 計				84	6	31	4	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イント:シュート 2P:2P率 イント:シュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	20	31.25%	小川 敦也
2	11	17.19%	浅野 ケニー
3	9	14.06%	星川 堅信

1	22	26.19%	木林 優
2	16	19.05%	田邊 太一
3	13	15.48%	西田 公陽

Score ranking[Game]

1	22	木林 優	福大大濠	2	20	小川 敦也	洛 南	3	16	田邊 太一	福大大濠
---	----	------	------	---	----	-------	-----	---	----	-------	------

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。出だし早々、洛南は#5星川のレイアップから先制すると、さらに#11小川のフリースローで加点する。大濠は#14横地が3P、#8木林がリバウンドからのシュートを決めて反撃する。ここから大濠が#10平松、#8木林が3Pを連続で決めて、8-17となったところで洛南がタイムアウト。その後も大濠が着実に加点し、14-24と大濠10点リードで1Q終了。

2Q、出だしから大濠のシュートが確実に決まり、16-33とリードを広げる。ここから洛南は#11小川がレイアップやミドルからのシュートを決め、点差を詰め始める。更に#5星川がドライブからのシュートを決めるなどして8点差とする。大濠は#17針間がミドルシュートを入れ返すが、後が続かない。さらに洛南が3点差まで追い上げ、34-37で2Q終了。

3Q、洛南は#12浅野の連続得点により、ついに40-39と逆転する。大濠は#14横地と#8木林を中心にオフェンスを組み立て、徐々にペースを掴み始め、42-52と10点差と引き離す。洛南はタイムアウトで立て直しを図るが、その後も大濠のディフェンスを攻めあぐみ、得点できない時間が続く。42-59と、大濠17点リードで3Q終了。

4Q、流れは変わらず、大濠はディフェンスリバウンドからの速攻などで試合を進めていく。洛南はパスミスやフリースローのミスも重なり、点差を詰めることができず、残り5分8秒53-71となったところでタイムアウト。洛南はフルコートでプレッシャーをかけて追い上げるが力及ばず、64-84で福大大濠が勝利した。